

令和3年12月定例東温市教育委員会会議録

開会の日時及び場所 令和3年12月21日(火) 午前 9時 00分
東温市庁舎 4階 405会議室

議事に出席した委員	教育委員	本田 隆彦
	教育委員	水岡 明美
	教育委員	清家 隆夫
	教育委員	大西 正志

議事に出席した職員	教育長	八木 良
	事務局長	池田 隆太
	学校教育課長	橋本 武
	保育幼稚園課長	近藤 和明
	生涯学習課長	河端 徳明
	給食センター長	近藤 照雄
	学校教育課長補佐	渡部 昌弘
	学校教育指導主事	東山 淳志

傍聴人 なし

1 開会宣言(9:00)

渡部補佐 (開会を宣す。)

2 教育長あいさつ(9:00)

八木教育長 傍聴希望者について、現在はおりませんが、この後希望があれば許可するということよろしいでしょうか。

委員全員 (意義ない旨伝える。)

八木教育長 皆さん、おはようございます。今年最後の定例教育委員会になりますが、よろしく願いいたします。

まず、新型コロナウイルスの感染状況ですが、全国的に縮小傾向が続いておりまして、本県におきましても、感染者ゼロの日が続くことが多くなってきました。こういった状況の中、幼稚園・保育所をはじめ小中学校においては、学校行事が例年に近い形で実施されてきており、12月7～8日には、南吉井小学校が、先週14～15日には川上小学校、東谷

小学校、西谷小学校の連合が広島県と香川県に修学旅行を実施し、無事に終えています。また、明日からは、北吉井小学校が広島・香川方面に修学旅行に出発します。これで、市内の小学校は全て修学旅行を実施したということになります。また、一昨日は第12回の東温市民健康マラソン大会が重信川緑地公園グラウンドと周辺道路で行われ、親子の部をはじめ、小中学生、一般の部等、総勢約204名が参加して行われました。寒風の中、選手たちは元気に走っていました。思いのほか、多くの参加者があってありがたく思いました。一方、嬉しいニュースとして、川上幼稚園PTAが、令和3年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞いたしました。園とPTAが一体となって取り組む幼稚園の運営が評価されたものと嬉しく思っています。

さて、来年1月9日に予定しております成人式についてですが、予定通り開催できそうであります。新型コロナウイルスのオミクロン株による第6波の心配もありますので、完全に元通りという訳には参りませんが、少し縮小した形での開催を計画しています。概要につきましては、生涯学習課長の方から、この後、報告させていただきます。

また、来年度の保育所、幼稚園、認定こども園の申込受付状況をまとめておりますので、これについても、この後、ご報告させていただきます。

続いて、12月議会について報告いたします。一般質問において、次の内容が教育委員会に出されました。

○ 新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが「感染対策期」にあった状況の中で、社会教育・体育施設について「市民限定で利用可」とした経緯について

○ 教職員の資質・能力について

○ 教職員の資質・能力における課題とその背景について

○ 教職員の資質・能力の向上に向けて、教育委員会に求められる役割について

であります。答弁内容は、各課報告の後、関係課長が説明いたします。

結びに当たりまして、今年の東温市教育の推進を振り返りながら、忌憚のない幅広いご意見をお出しいただきますよう、お願い申し上げます。開会のあいさつといたします。本日は、よろしくお願ひいたします。

3 前回会議録の承認

八木教育長 (11月定例会議録の承認を求める。)
委員全員 (意義ない旨伝える。)

4 各課報告

橋本課長 (当日資料1、2ページに基づき、学校教育課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

近藤課長 (当日資料2、3ページに基づき、保育幼稚園課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

河端課長 (当日資料3、4、5ページに基づき、生涯学習課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

近藤所長 (当日資料6ページに基づき、学校給食センターに関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

八木教育長 各課からの報告が終わりましたが、ご意見やご質問等ございませんでしょうか。

水岡委員 生涯学習課の1月5日から18日に図書館本館と川内分館で本の福袋貸出図書館というのがありますが、これは子どもを対象にしたものなのか、大人も対象なのか。どのような感じの福袋なのでしょう。

河端課長 こちらの福袋貸し出しについては詳細が分かりませんのでこの後調べてこの会の中でご報告させていただいたらと思います。

八木教育長 他にございませんでしょうか。

大西委員 本日東温市の通学路安全連絡協議会があるのですが、先日も徳島県で痛ましい事故が起きておりますので、特にそういう危ないというような箇所については年末だけでも状況によったらパトカーが市と協同で待機してくれるようなこともありますので、そういった感じで対応していただけたらと思います。やはり運転手もパトカーを見るとちょっと運転注意すると思いますので。

橋本課長 通学路については基本的にはハード的な対策、横断歩道を付けるとか陸橋を付けるとかが一番直接的で効果的なのですが、どうしても予算的なところで優先順位を付けて警察や道路管理者が対策するようなことなので、ハード面での対策ができない場所もあります。そのハード面で対策ができないようなところはソフト面で、例えば見守りを強化するとか。その中で警察によるパトロールを強化するというようなこともご協力いただけるようになっておりますので、なお年末年始、特にそこらはより強化していただくように要請していきたいと思っております。

八木教育長 それに付け加えて、重信中学校のすぐ南側の道路が、上田歯科のところから旧の役場の前までスクールゾーン 30 キロ制限になったということです。朝、小学生が集団登校で来る。中学生が自転車、高校生も自転車。そして徒歩通学生がいる。ということで、非常に心配していたのですが、いろんな方のご尽力でつい最近 30 キロ制限になったそうです。

本田委員 東温市人権を語る集いに参加させていただきましたが、自分をさらけ出されて貴重なお話をいただき、心にずきずきと響くようなお話でした。講師に対して尊敬も感じましたし、あなたならどうしますか。という問いかけがあったと思うのですが、私たちはそれについて返答ができないなという思いを持ちました。あのお話を聞かせていただいた後で、質問とか意見とかなかなかそういう気分にはならない。会場の方もそうだったのではないかと思いましたので、ああいう時は、もし質問があれば、ということですぐに次に移っても良かったんじゃないかと思います。学校給食センターに質問ですが、北吉井認定こども園の給食提供が始まるようですが、調理の量が増えますし、運搬等の業務が増えると思うのですが、人員等の確保や施設の対応は十分できているのかということと、計画にあります支援学校 2 校との連携とはどのような連携を考えているのか教えていただいたらと思います。

八木教育長 まず人権を語る集いについて担当課長お願いします。

河端課長 私も講演を聞きまして、なかなか直接お話を聞くことのできないような、かなりハードな内容でしたので、ご質問などは難しかったのかなと思いました。そのあたりは講演の内容に応じて今後は臨機応変に対応していきたいと考えております。

八木教育長 続きまして給食センターの所長さんお願いします。

近藤所長 北吉井認定こども園の給食の提供についての報告をします。現在北吉井幼稚園に対して学校給食センターから配送しておりますが、認定こども園になっても学期期間中の給食配送は学校給食センターから行う予定です。現在北吉井幼稚園で園児と先生合わせて 100 名程度おりますが、これが最大 150 名程度、給食数で言うと 60 食程度増加となろうかと想定し保育幼稚園課と協議をしております。その中で 60 食の対応については、ご存じのとおり現在少子化等により学校給食センターの給食調理数が 3,200 食です。4,000 食対応の給食センターでかつては 3,800 食あたりから始まっておりますので、設備的には全く問題ありません。調理員の人員等についても 60 食程度の対応については十分可能かと考えております。学期期間外、土曜日や長期休業中については双葉保育所から

認定こども園へ学校給食を提供します。これについては保育幼稚園課の管轄になりますが、基本的に大丈夫であると聞いております。その中でアレルギー対応については、保育所側の栄養士と協議する中で、保育所はアレルギーを全対応しており、学校給食センターはパンと牛乳を除去若しくは代替で対応しているということで違いがあります。そういったことで学期期間中の給食センターの内容と学期期間外の保育所の内容についてアレルギー対応に違いはありますので、これは園児ももちろんですが、保護者が十分にその内容を理解していただくように現在栄養士の方と調整しております。最終的に全対応している保育所に全て合わずというのが学校給食センター側ではできませんので、安全側を考えて、学校給食センター側のアレルギー対応に認定こども園の園児については合わせていただくという方向で調整しております。いずれにしても最終的には全対応できるのが理想ですが、学校給食センターについてはこれからの対応ですので、基本的にそちらの対応に準じて当面の間行うと考えております。2点目の市内に2校あります県立支援学校との連携に関する打ち合わせについては、それぞれ栄養教諭が在籍しておりますが、栄養教諭の間で協議を進めている中での打合せとなります。同じ東温市内にある学校給食の調理ですので、地産地消の観点からは第一前提です。それ以外に、給食の具体的な内容にも、障がい等をお持ちの子どもさんがいらっしゃる支援学校と通常の学校給食センターの給食にも違いがありますので、その違いをそれぞれの児童生徒が相互理解を進める。障がい施設の方は特別な給食を提供しておるということ、学校給食を提供しておる通常の小中学校、幼稚園の子どもたちに理解を進めていくことで、相互理解を進めるということがあるかと思えます。そういったことで同じ東温市内にある学校として給食の内容の違いをそれぞれが理解し合って食育の推進につなげたいというのが目的で今回連携の打合せをする予定にしております。

本田委員 負担増にはならないということですが、様子を見て職員の負担増にならないように配慮してあげたらと思えます。連携については、子どもたちの相互理解ということをお話しされたのですが、食育に関わる内容なのか、お互いの理解の方につながるのか。どちらでしょうか。

近藤所長 これについては、相互理解ということで考えれば、通常の学校に通っている子どもにとって障がいを持っている同じ年代の子どもたちがどういった生活をされているか、その中での給食が共通項目で、どういった物を食べておるかというあたりについて、今は全く接点ございませんの

でそのあたりを給食という根本的なところはずれないようにお互いの理解を進める。基本的にはそういうことで、コロナ前にはやっておりました交流給食を支援学校の児童生徒も含めた形でできるようなことも可能ではないかと考えておりますし、地産地消は地軸に置くとしても、子どもたち同士の相互理解という一つの接点に活用できるのではないかと考えて進めているところです。

本田委員 現在も給食以外の場面での交流はやっていると思うのですが、給食となると難しい部分もあると思います。特にしげのぶ特別支援学校の方は、給食は個人個人への与え方も違っているようです。それが本当にうまく理解し合えるような場面ができるのかと思うのですが。

近藤所長 そこは我々にとって未知数のところもありますが、栄養教諭にとってはお互い情報交換は日ごろからしているようですから、うまくつなげることはできないかということで今後検討を進めたいと考えております。

(12月議会の教育委員会に関連した一般質問の答弁について)

橋本課長 (「教職員の資質・能力について問う」、「教職員の資質・能力における課題とその背景について問う」、「教職員の資質・能力の向上に向けて、教育委員会に求められる役割について問う」についての答弁内容を説明する。)

河端課長 (「新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが感染対策期にあった状況の中で、社会教育・体育施設について「市民限定で利用可」とした経緯について問う」についての答弁内容を説明する。)

5 その他

(1) 教育委員会共催・後援事業について(令和3年11月承諾分)

橋本課長 (資料に基づき、教育委員会共催、後援事業について令和3年11月承諾分を説明する。)

(2) その他の報告事項について

①令和4年度東温市立保育所・幼稚園・認定こども園申込受付状況について

近藤課長 (資料に基づき、令和4年度東温市立保育所・幼稚園・認定こども園申込受付状況について説明する。)

本田委員 上林は地域の方々も保育所存続を昔から願っておられるので、できるだけ存続できるような方向で考えていただきたいと思います。最終的には保護者の方のご意向次第だと思うのですが、地域の方もそれを納得さ

れておられるのですか。

近藤課長 はい。一人二人でも開けてほしいという意見が大多数ではなかったです。一人二人くらいは、一人でも開けてほしいという雰囲気はあったと思うのですが、その会全体の意見ではなかったのご理解いただけていると思っております。

本田委員 北吉井認定こども園について、双葉が140人に対して193人。北吉井が60人枠考えていたのが19人ということで双葉の過密解消の意味もあったと思うのですが、どうもそういう方向には希望者はなっていない。この原因は何なのか。保護者が認定こども園について期待していないのか、それとも認定こども園に対する理解が深まっていないのか。そのあたりも探っていくと、認定こども園が将来的には増える方向になっていくと思うのですが、保護者の方に理解していただいてそっちもいいんだなと思っていただかないと、調整だけで割り振るのでは意味がない気がしますので、また対応していただけたらと思います。

近藤課長 市で開設、移行しますので、北吉井幼稚園の良いところ、認定こども園の良いところをどんどん発信していきたいと思っております。また、今、年少年中で他のところに通っている方が、新たに園を変えてまで北吉井の認定こども園を選択するのはちょっと考えにくいと思っておりますので、3年間くらいでおおよそこちらが予定している60人に近づけるように説明、紹介、PR等をしていきたいと思っております。

②学校施設環境改善交付金事業に係る評価の実施について

橋本課長 この件については係長から説明させていただきます。

好永係長 (資料に基づき、学校施設環境改善交付金事業に係る評価の実施について説明する。)

③図書館の本の福袋の件について

河端課長 (資料に基づき、図書館のほんの福袋の件について説明する。)

(3) 令和4年2月定例会の日程について

2月定例教育委員会

日時 令和4年2月22日(火) 午前9時00分から

場所 405会議室

学校評価報告会

日時 令和4年2月21日（月）午前10時00分から重信校区

令和4年2月21日（月）午後13時30分から川内校区

場所 405 会議室

（4）令和3年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

橋本課長 （資料に基づき、令和3年度要保護準要保護の認定について説明する。）

（5）令和3年11月末現在のいじめ・不登校の状況について

橋本課長 月3分の1以上欠席者における小学校の不登校人数は11名、病気人数は2名、その他人数は0名、小学校の月3分の1以上の欠席者人数は計13名です。中学校の不登校人数は33名、病気人数は12名、その他人数は0名、中学校の月3分の1以上の欠席者人数は計45名です。小中学校の合計の月3分の1以上の欠席者は58名です。

30日以上の不登校は、小学校10名、中学校38名、合計48名です。

非行について該当はありません。

— 非 公 開 —

橋本課長 いじめについて、認知件数は小学校2件、中学校2件、合計4件です。認知のきっかけは本人からの訴え1件、教職員の発見2件、アンケートなどにより発見1件です。いじめの解消状況について、解消が小学校6件、中学校7件、継続は小学校0件、中学校0件。継続的見守りが小学校8件、中学校5件で、合計26件です。

— 非 公 開 —

八木教育長 ご質問等ございませんか。そうしましたら本日の審議を終わりたいと思います。司会を事務局にお返しします。

渡部補佐 （閉会を宣す。）

（午前10時50分閉会）